

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	肢体不自由児の心理・生理・病理 [Psychology, Physiology and Pathology of Children with Physical]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	750138	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	野村 宗嗣			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(3) DP3(4)		
授業概要	<p>肢体に不自由のある子どもの生理や心理特性を理解する上で、うまく動作が行えないことが、どのように認知発達に影響を及ぼすかといったことや、意図にそった動作を行うためには、どのような指導や支援がよいのかを学ぶとした。授業計画の後半においては、脳性まひのある児童生徒、進行性筋ジストロフィー、二分脊椎のある児童生徒の理解や支援について学ぶものとした。</p>						
関連する科目	重複障害児教育総論 肢体不自由児教育総論 病虚弱児の心理・生理・病理						
授業の進め方と方法	<p>肢体不自由児の行動特性といったものを、解剖学的、生理学的、心理学的観点から理解するため、人間の身体の仕組みについて学ぶ。まずは、関節と筋肉、神経が如何に関係し、動作として実行できるのかを、心理的な範疇も含めて、学ぶものとした。</p>						
授業計画	<p>第1回: 肢体不自由の発生原因  第2回: 肢体に不自由のある子どもの生理と心理特性  第3回: 肢体に不自由のある子どものからだの動きと姿勢  第4回: 脳性疾患、脳の抑制機能、固有感覚、前庭感覚  第5回: 感覚過敏の理解と対応  第6回: 胎生期、新生児期、乳児期における身体機能の獲得と発達  第7回: 障害の重度・重複化とその要因  第8回: 重度・重複障害のある子どもの健康  第9回: 発作の理解と対応  第10回: 拘縮予防と身体のリラクゼーション  第11回: 呼吸障害と姿勢づくり  第12回: 側弯の進行予防と装具、座位保持椅子の活用、  第13回: 医療的ケアの動向と課題  第14回: 保護者との連携、訪問教育  第15回: 就学前の肢体に不自由のある子どもの教育と療育</p>						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児の教育にとって必要である基本的な心理、生理及び病理について理解する。</li> <li>・肢体不自由児の支援を、学校教育のみならず、医療や福祉、保護者との連携や療育での支援の在り方も含めて、包括的に支援していく必要性を理解する。</li> </ul>						
授業時間外の学修	<p>[予習]次時の学習に向け提示される課題や配布される資料等を読み、講義内容の概略を理解するとともに、用語等の意味を調べる。(1.5時間)  [復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。授業から提示された課題等に対して、自分なりの対処方法や見解をレポートにまとめる。(1.5時間)</p>						
課題に対するフィードバック	毎回の要点整理のレポートと課題に対するレポートは、次時の授業時間に評価・解説を行う。	評価方法		以下3項に基づき、評価する。 ①要点整理のレポート提出: 20% ②定期試験: 60% ③課題レポート: 20%			
テキスト	適宜、資料等を配布						
参考書	適宜、紹介						
備考							